

# わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課  
☎0920(54)2341

## 対馬各地の地名

(大字編)

【豊玉町東加藤・西加藤・加志々】

この三箇所は、行政区として独立した地区ですが、通称「水崎」と総称されている地域です。

この水崎浦は元は無人の浦で、江戸時代までは、隣の貝鮎、嵯峨、唐洲などの飛び地となっていました。が、明治になり人口が急増しました。

東加藤は水崎浦と浅茅湾とを屏風のように塞ぐ位置にある横島の形状を指して「屏風浦」と呼ばれていました。現在の名称は、西加藤に対して東側にあることから、こう呼ばれています。

西加藤は「カトウ」という小字の当て字であるが、文禄の役の際に加藤清正が停泊したので地名としたという俗説も伝えられています。

泊したので地名としたという俗説も伝えられています。加志々の語源は「檜」を語源とする説や、地域の境界を示す「四至」を語源とする説があります。

【豊玉町唐洲】

室町時代初期の古文書には「鳥」から「唐洲」と記したものがあり「唐洲」という表記は江戸時代になって使われるようになりました。

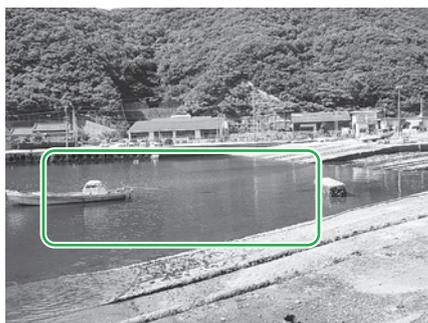
『津島記事』では、由来は不明と記していますが「昔遣唐使船が浅茅湾を出て、西面にあるこの浦から出港して、帆を開く処」という説を挙げ、外国を指す「唐・カラ」という音が当てられたのではないかと指摘しています。

【豊玉町廻】

『津島記事』には、浅茅湾

から西面に出る時に船を転角する場所であることから「廻陵」浦（陵とは筋状の山、丘のこと）と呼ばれていたことに由来するといわれています。

その他の説として、この地区が馬の産地で、牧場があつたことから「馬有り」が訛り「まわり」と呼ばれるようになったという説も伝わっています。



西加藤遺跡

(緑枠付近の海底にあつたとされる縄文時代の遺跡。縄文時代中期の土器が発見されている)

## つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

- つしま図書館では、皆様からの本の寄贈を受け付けております。読み終えて不要になった本はありませんか？ 図書館カウンター・各公民館で受け付けています。詳しくはつしま図書館まで

## 12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日

## 今月のおすすめ新着本

一般書	『お風呂自慢の宿』 KAZIMツク／出版 源泉の宿や美食を愉しむ宿など、厳選した98の宿を収録。	『シャッフル航法』 円城 塔／著 宇宙間移動時の奇妙な事故を描いた表題作をはじめとする、全10編の短編集。	『とりわけスタイルで超簡単! 大皿おかずの本』 枝元 なほみ／著 おいしさと手軽さのメリットが一杯の大皿おかず。42のレシピを収録。
	『命はどうしてたいせつなの?』 大野 正人／著 食物連鎖や世代交代をわかりやすく説明し、命の大切さを伝える絵本です。	『でんごんでーす』 マック・バーネット／作 お母さん鳥がピーターに伝言を送ります。ピーターは晩御飯に間に合うでしょうか?	『べんり屋、寺岡の秋。』 中山 聖子／著 べんり屋寺岡に2件の依頼がやってくる。そして寺岡家には幽霊騒ぎが巻き起こり...